公共下水道計画管路内調査（その６２）委託特記仕様書

１　特記仕様書の適用範囲

この仕様書は「下水道管路内調査工一般仕様書（令和３年７月）（以下、「一般仕様書」という。）」の第１章第１－２に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、一般仕様書による。

２　管渠内調査項目

種　　別	単位	数 量	摘　　要
マンホール目視調査工（昼間）	箇所	117	
マンホール目視調査工（夜間）	〃	37	
TV カメラ調査工（昼間）	m	2024.3	φ800 ㎜未満
TV カメラ調査工（夜間）	〃	1280.7	〃
管きょ内洗浄工（昼間）	m	2117.9	〃
管きょ内洗浄工（夜間）	〃	1308.1	〃
管渠内締切工	日	20	〃

以下に、TV カメラ調査工の口径別調査延長を示す。

口　　径	単位	数 量	摘　　要
φ150	m	22.8	TV カメラ調査工
φ200	〃	252.4	
φ230	〃	151.7	
φ250	〃	256.4	
φ300	〃	1009.3	
φ380	〃	679.1	
φ450	〃	357.0	
φ600	〃	309.1	
φ700	〃	177.5	

⑴　管渠内洗浄工

管路内に堆積物がある場合は、監督員との事前協議により設計変更の対象とする。

ただし、設計変更する場合は堆積量がわかる写真等の変更協議資料を作成すること。

⑵　マンホール調査工

調査内容については、一般仕様書に定める様式の項目とする。

ただし、大規模なマンホール等については別途、協議によるものとする。

⑶　業務進捗報告

日々の作業内容がわかるように業務日報及び週間工程表を提出すること。

⑷　管路情報

調査表に記載する管路情報（土被り、管路延長、マンホール深さなど）については、現地実測値と下水道台帳値が比較できる資料を作成し、監督員との協議により決定すること。

⑸　陥没等の危険性がある管渠の報告

調査により、陥没等の危険性がある管渠を発見した際は、直ちに監督員へ報告を行うこと。

⑹　蓋のがたつき確認の報告

調査箇所全てにおいて、調査後に鉄蓋及びコンクリート蓋のがたつきがないかを確認し、有無を監督員へ報告を行うこと。また、調査に起因してがたつきが発生した場合は対応を行うこと。

3　調査時間

調査位置図によるものとする。ただし、作業時間を変更する必要が生じた場合は監督員との事前協議により設計変更の対象とすることができる。

4　交通安全管理

⑴　　交通誘導警備員の有資格

ア　規制箇所に次に掲げる路線を含む場合は、警備員等の検定等に関する規則（平成 17 年 11 月 18 日国家公安委員会規則第 20 号）に基づき、交通誘導警備検定合格者（１級又は 2 級）を規制箇所毎に 1 名以上配置すること。

【京都市内の交通誘導警備員 A（交通誘導警備員検定合格者）の配置箇所】

国道 1 号、国道 9 号、国道 24 号、国道 162 号、国道 171 号

府道梅津東山七条線（府道 113 号）

ただし、所轄警察署との打合せの結果、交通誘導警備検定合格者（１級又は 2 級）以外の配置を認められた結果は、この限りではない。

イ　受注者は、交通誘導警備検定合格証（写し）を監督職員に提出するものとする。

⑵　交通誘導警備員の配置

交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更に伴い員数に増減が生じた場合は、監督員との事前協議により設計変更の対象とすることができる。

作業内容	交通誘導警備員	編成	交替要員の有無
TV カメラ調査工	2 名／日	□国道 24 号 1 人：交通誘導警備員 A 1 人：交通誘導警備員 B □その他路線 2 人：交通誘導警備員 B	無
管渠内洗浄工	2 名／日	□国道 24 号 1 人：交通誘導警備員 A 1 人：交通誘導警備員 B □その他路線 2 人：交通誘導警備員 B	無
マンホール調査工	1 名／日	□国道 24 号 1 人：交通誘導警備員 A □その他路線 1 人：交通誘導警備員 B	無

5　出水期における調査の安全確保

出水期における既設の合流式下水道管や雨水路等の調査については、下記の安全対策を講じること。

⑴　出水時期における既設の合流式下水道管や雨水路等の内部での作業は、できるだけ行わない、または、最小限の作業とすること。

⑵　既設の合流式下水道管や雨水路等の内部での作業は、気象情報や降雨状況に注意し安全の確保に努めること。

⑶　既設の合流式下水道管や雨水路等での作業は、集中豪雨が発生した際に作業員の避難方法（情報の伝達体制を含む）について業務計画書に記載し、全作業員に周知すること。

⑷　既設の合流式下水道管や雨水路等に流水機能を阻害する構造物を設置しないこと。

⑸　台風や夕立の際には突風や強風が発生することがあるため、調査機器や看板類等の転倒・飛散防止対策を行うこと。

⑹　原則として以下のいずれかの場合には調査等を中止する。なお、具体的な安全対策等については、「局地的な雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き（案）」（国土交通省下水道部 http://www.mlit.go.jp/report/press/city13_hh_000036.html）を参考にすること。

ア　当該作業箇所または上流部に洪水又は大雨の注意報・警報が発表された場合

イ　当該作業箇所または上流部に降雨や雷が発生している場合

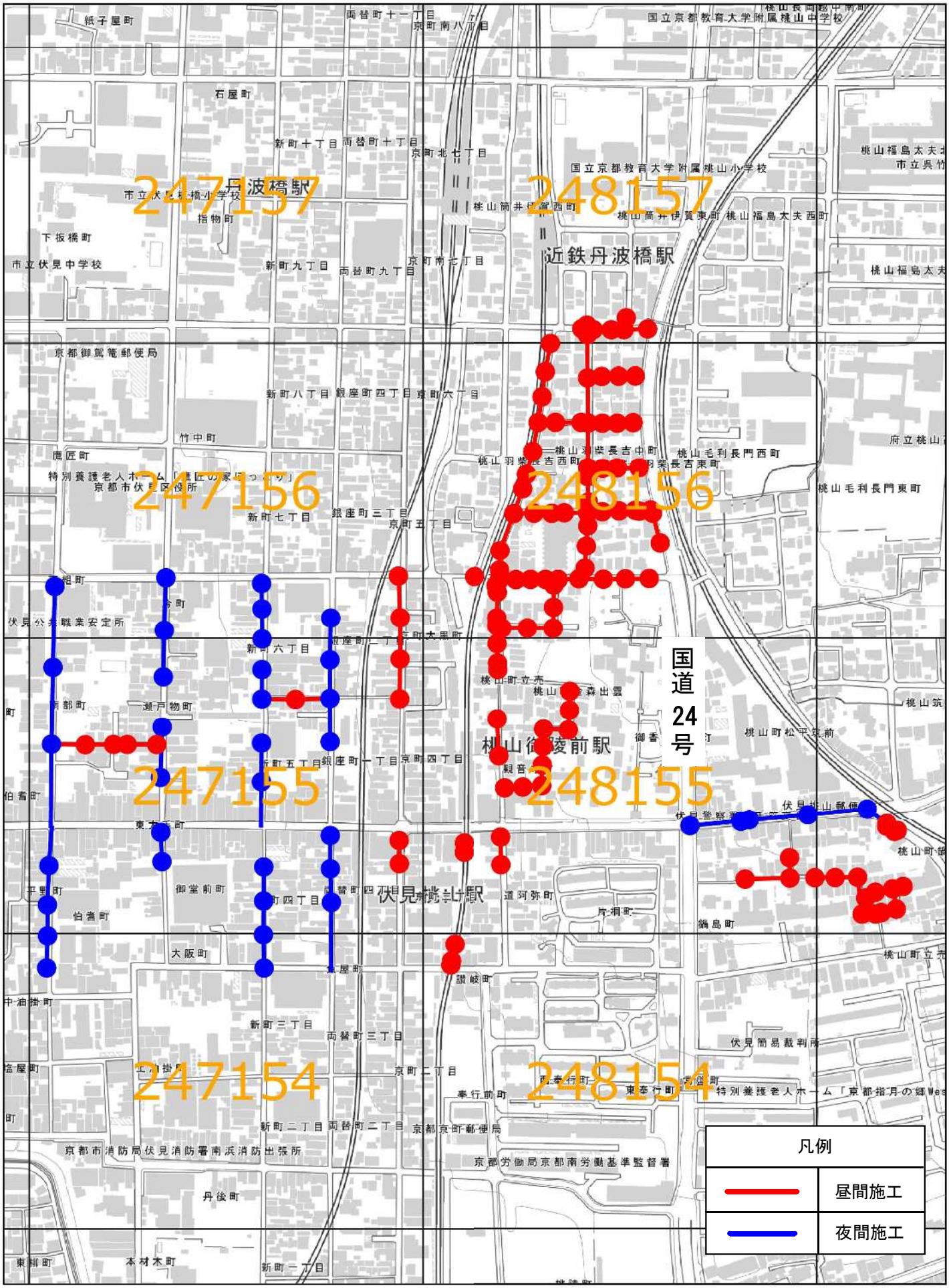
6　関係法令及び条例の遵守

受注者は、管路内調査業務の実施にあたっては、関連する関係法令及び条例等を遵守しなければならない。なお、道路上での管路内調査作業に際しては、道路使用に係る申請を行い、許可を得ること。

7　労災保険に関する取り扱い

受注者は、法定外の労災保険及びその他の保険（これに準ずるものを含む）に加入し、その加入証書の写しを速やかに監督員に提出しなければならない。

全体位置図


247157
248157
247156
248156
247155
248155
247154
248154
国道24号
凡例
昼間施工
夜間施工

（様式－3）

調 査 記 録 表 （円形マンホール ）

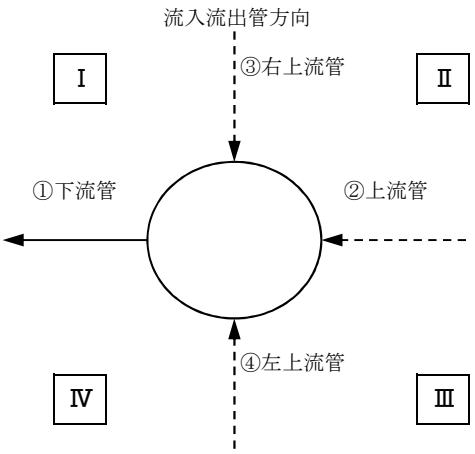
No. 1

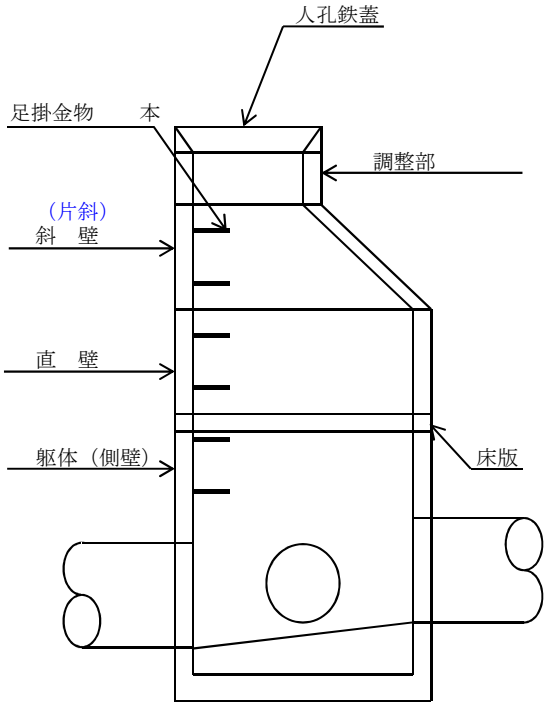
：直接入力箇所

受 注 者 ：
担 当 者 ：
調査年月日 ：

ﾒｯｼｭ番号	MH番号	種別	深さ（m）	形状寸法（mm）	築造年度	築造位置	写真番号	築 造 場 所	備考

鉄蓋		受枠	調整Con	斜壁	直 壁				床版	側壁		底部	足掛金物
材質	形状	種別	高さ	形状	形状	個数	形状	個数	厚み	形状	高さ	種別	種別





備考：

異常箇所凡例

腐食　クラック　侵入水

破損　ズレ　閉塞

判定凡例		
	A・B・C	異常ランク
	－	異常無し
	×	調査該当項目無し

調査項目			判定	写真No.	摘 要
人孔上部	蓋部	ガタツキ			
		クラック			
		路面との段差			
		磨耗			
		破損・変形			
		腐食			
		冠水の可能性			
		浮上防止機能			
		転落防止機能			
		密閉性			
	調整部	ｺﾝｸﾘｰﾄのｸﾗｯｸ			
		モルタル			
		浸入水			
足掛け金物		腐食			
		欠落			
壁塊	斜壁	腐食			A= m²（骨材露出，鉄筋露出）
		破損			A= m²
		クラック			L= cm， t= mm
		ズレ			t= mm
		目地			
		浸入水			
	直壁	腐食			A= m²（骨材露出，鉄筋露出）
		破損			A= m²
		クラック			L= cm， t= mm
		ズレ			t= cm
		目地			
		浸入水			
	躯体（側壁）	腐食			A= m²（骨材露出，鉄筋露出）
		破損			A= m²
		クラック			L= cm， t= mm
		ズレ			t= cm
		目地			
		浸入水			
	床版	腐食			A= m²（骨材露出，鉄筋露出）
		破損			A= m²
		クラック			L= cm， t= mm
		ズレ			t= cm
		浸入水			
底部		インバート			
		石張り			
管口	下流管①	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	上流管②	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	副管②	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	右上流③	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	副管③	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	左上流④	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	副管④	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
流水の滞留					

（様式－3）

調 査 記 録 表 （矩形マンホール ）

No. 1

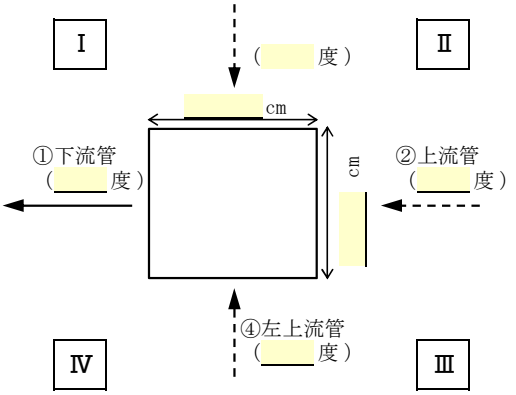
□：直接入力箇所

受 注 者 ：
担 当 者 ：
調査年月日 ：

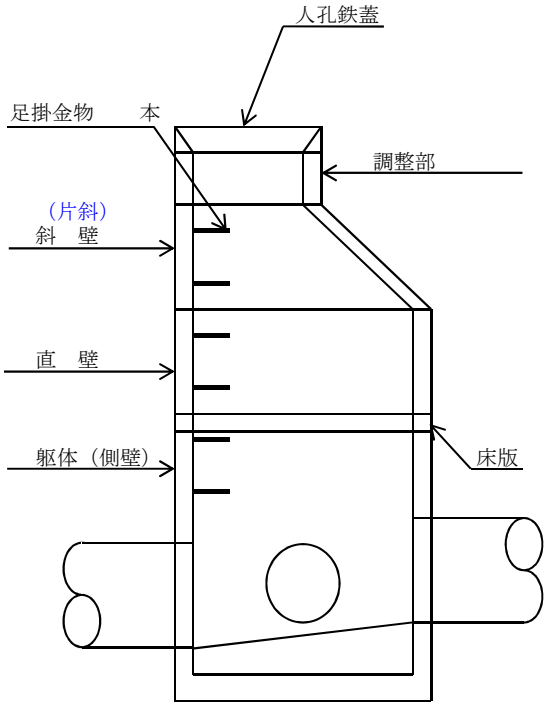
ﾒｯｼｭ番号	MH番号	種別	深さ（m）	形状寸法（mm）	築造年度	築造位置	写真番号	築 造 場 所	備考

鉄蓋		受枠	調整Con	斜壁	直 壁				床版	側壁		底部	足掛金物
材質	形状	種別	高さ	形状	形状	個数	形状	個数	厚み	形状	高さ	種別	種別

流入流出管方向



※躯体面に直角流出入でない場合
管口から背面壁までの寸法
①下流管 ＝ cm
②上流管 ＝ cm
③右上流管 ＝ cm
④左上流管 ＝ cm



備考：

異常箇所凡例
腐食　クラック　侵入水
破損　ズレ　閉塞

判定凡例		
	A・B・C	異常ランク
	－	異常無し
	×	調査該当項目無し

調査項目			判定	写真No.	摘 要
人孔上部	蓋部	ガタツキ			
		クラック			
		路面との段差			
		磨耗			
		破損・変形			
		腐食			
		冠水の可能性			
		浮上防止機能			
		転落防止機能			
		密閉性			
	調整部	ｺﾝｸﾘｰﾄのｸﾗｯｸ			
		モルタル			
		浸入水			
足掛け金物		腐食			
		欠落			
壁塊	斜壁	腐食			A= m²（骨材露出，鉄筋露出）
		破損			A= m²
		クラック			L= cm， t= mm
		ズレ			t= mm
		目地			
		浸入水			
	直壁	腐食			A= m²（骨材露出，鉄筋露出）
		破損			A= m²
		クラック			L= cm， t= mm
		ズレ			t= cm
		目地			
		浸入水			
	躯体（側壁）	腐食			A= m²（骨材露出，鉄筋露出）
		破損			A= m²
		クラック			L= cm， t= mm
		ズレ			t= cm
		目地			
		浸入水			
	床版	腐食			A= m²（骨材露出，鉄筋露出）
		破損			A= m²
		クラック			L= cm， t= mm
		ズレ			t= cm
		浸入水			
底部		インバート			
		石張り			
管口	下流管①	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	上流管②	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	副管②	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	右上流③	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	副管③	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	左上流④	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
	副管④	破損/クラック			
		ズレ			
		閉塞			
		浸入水			
流水の滞留					

工　事　設　計　書

課　長 所　長	係　長	照　査	設　計

年度　令和 6年度　　設計年月　令和　年　月　　工期　契約の日より 160日間

事　　業　　名

工　　事　　名　公共下水道計画管路内調査（その６２）委託

工　事　場　所　京都市伏見区桃山羽柴長吉中町　他　地内

工　事　価　格　　円

本　工　事　費　　円　　消費税等相当額　　円

積算基準	土木

京都市　上下水道局

設計内訳書（本01）

工事名	公共下水道計画管路内調査（その６２）委託	事業区分 工事区分	下水道 管路

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要　国費／単費
管路		式	1				
管路施設調査工（視覚調査）		式	1				
視覚調査		式	1				
ﾏﾝﾎｰﾙ目視調査工		箇所	117				
ﾏﾝﾎｰﾙ目視調査工（夜間）		箇所	37				
本管TVｶﾒﾗ調査工	CP	m	1,658.2				
本管TVｶﾒﾗ調査工	CP以外	m	366.1				
本管TVｶﾒﾗ調査工（夜間）	CP	m	713.5				
本管TVｶﾒﾗ調査工（夜間）	CP以外	m	567.2				
管渠内洗浄工		式	1				
管渠内洗浄工		m	2,117.9				
管渠内洗浄工（夜間）		m	1,308.1				
水替工		式	1				

京都市

設計内訳書（本01）

工事名	公共下水道計画管路内調査（その６２）委託	事業区分 工事区分	下水道 管路

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要　国費／単費
管渠内締切工		式	1				
報告書作成工		式	1				
報告書作成工		式	1				
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	33				
交通誘導警備員（夜間）	B	人日	18				
交通誘導警備員	A	人日	1				
交通誘導警備員（夜間）	A	人日	1				
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
安全費		式	1				

京都市

設計内訳書（本01）

工事名	公共下水道計画管路内調査（その６２）委託	事業区分 工事区分	下水道 管路

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要　国費／単費
安全費		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

京都市